

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

※今回掲載している工事事故事例(別紙)は、5件分です。6件目の事例(別紙-6)については、原因・対策等を調査中のため、未掲載です。

【工事事故(速報)発生状況】 (H26.3.31現在)

| | 3月発生件数 | 累計件数 | 死亡者数 | 負傷者数 |
|-------------|--------|------|------|------|
| 平成25年度(今年度) | 6件 | 77件 | 9人 | 32人 |
| 平成24年度(昨年度) | 7件 | 85件 | 1人 | 32人 |

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

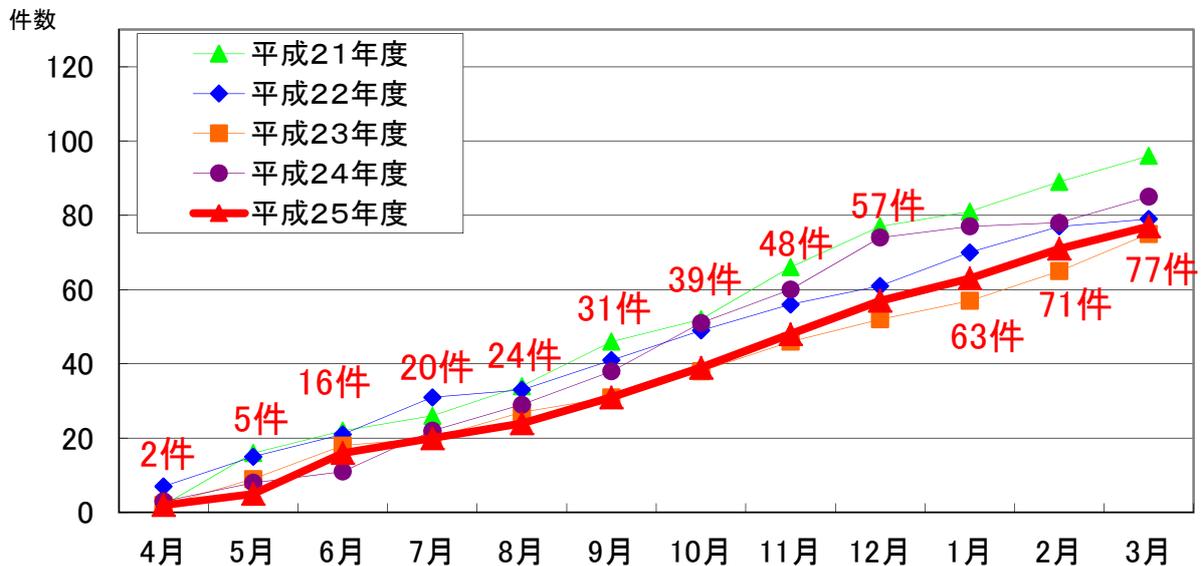
注2) 「3月発生件数」は、3/1～3/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成25年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

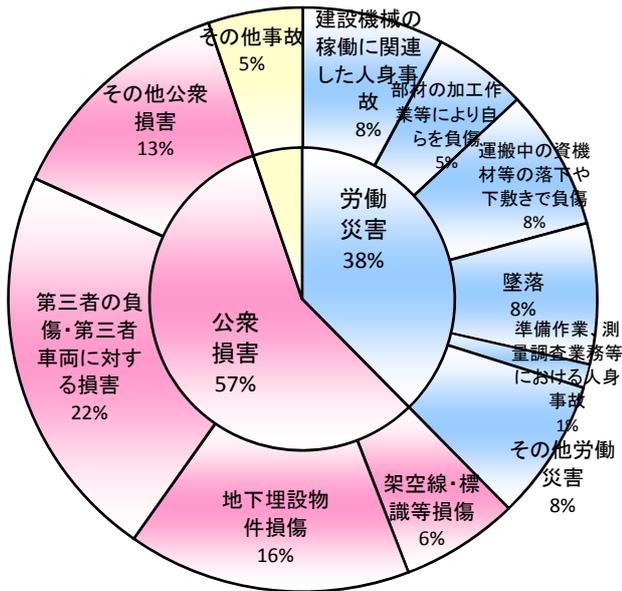
●工事事故件数



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------------|------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 平成21年度 累計 (月毎) | 2件 (2件) | 16件 (14件) | 22件 (6件) | 26件 (4件) | 34件 (8件) | 46件 (12件) | 52件 (6件) | 66件 (14件) | 77件 (11件) | 81件 (4件) | 89件 (8件) | 96件 (7件) |
| 平成22年度 累計 (月毎) | 7件 (7件) | 15件 (8件) | 21件 (6件) | 31件 (10件) | 33件 (2件) | 41件 (8件) | 49件 (8件) | 56件 (7件) | 61件 (5件) | 70件 (9件) | 77件 (7件) | 79件 (2件) |
| 平成23年度 累計 (月毎) | 2件 (2件) | 9件 (7件) | 18件 (9件) | 20件 (2件) | 27件 (7件) | 31件 (4件) | 38件 (7件) | 46件 (8件) | 52件 (6件) | 57件 (5件) | 65件 (8件) | 74件 (9件) |
| 平成24年度 累計 (月毎) | 3件 (3件) | 8件 (5件) | 11件 (3件) | 22件 (11件) | 29件 (7件) | 38件 (9件) | 51件 (13件) | 60件 (9件) | 74件 (14件) | 77件 (3件) | 78件 (1件) | 85件 (7件) |
| 平成25年度 累計 (月毎) | 2件 (2件) | 5件 (3件) | 16件 (11件) | 20件 (4件) | 24件 (4件) | 31件 (7件) | 39件 (8件) | 48件 (9件) | 57件 (9件) | 63件 (6件) | 71件 (8件) | 77件 (6件) |

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

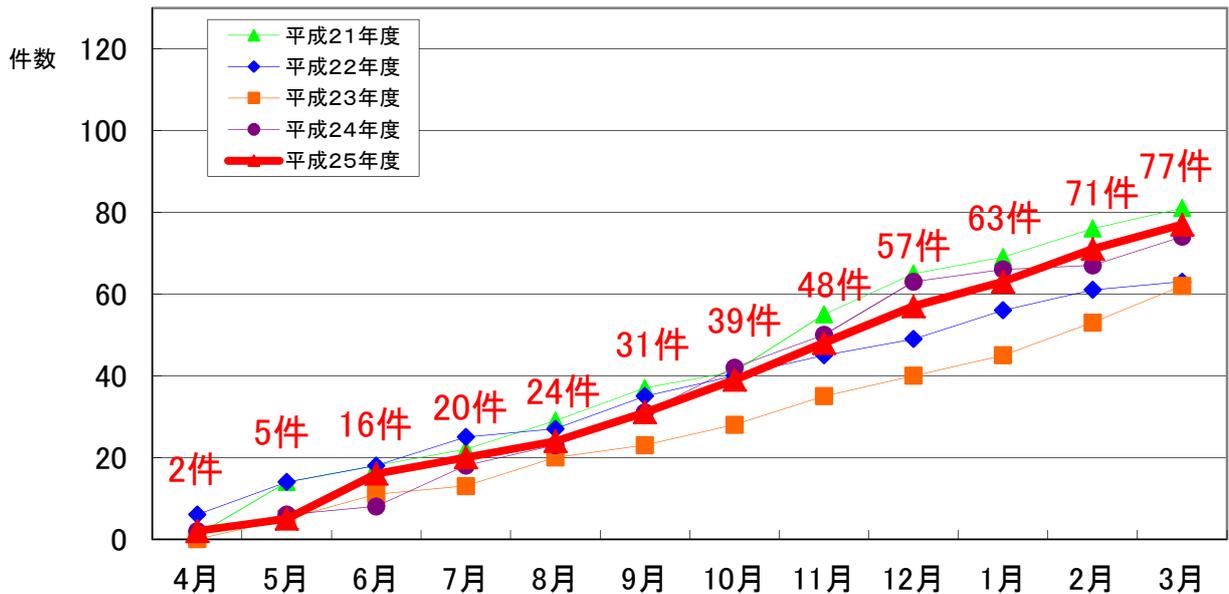
●平成25年度 工事事故発生状況(発生形態別)



| 発生形態 | | H23 | H24 | H25 | 過去3年間計 |
|-------|----------------------|-----|-----|-----|--------|
| 労働災害 | 建設機械の稼働に関連した人身事故 | 4 | 7 | 6 | 17 |
| | 部材の加工作業等により自らを負傷 | 1 | 0 | 4 | 5 |
| | 運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷 | 5 | 9 | 6 | 20 |
| | 墜落 | 3 | 5 | 6 | 14 |
| | 準備作業、測量調査業務等における人身事故 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | その他労働災害 | 1 | 6 | 6 | 13 |
| 小計 | | 14 | 27 | 29 | 70 |
| 公衆損害 | 架空線・標識等損傷 | 9 | 10 | 5 | 24 |
| | 地下埋設物件損傷 | 8 | 7 | 12 | 27 |
| | 第三者の負傷・第三者車両に対する損害 | 22 | 19 | 17 | 58 |
| | その他公衆損害 | 18 | 19 | 10 | 47 |
| 小計 | | 57 | 55 | 44 | 156 |
| その他事故 | | 3 | 3 | 4 | 10 |
| 計 | | 74 | 85 | 77 | 236 |

■ H25年度重点的安全対策項目

(参考) 工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)



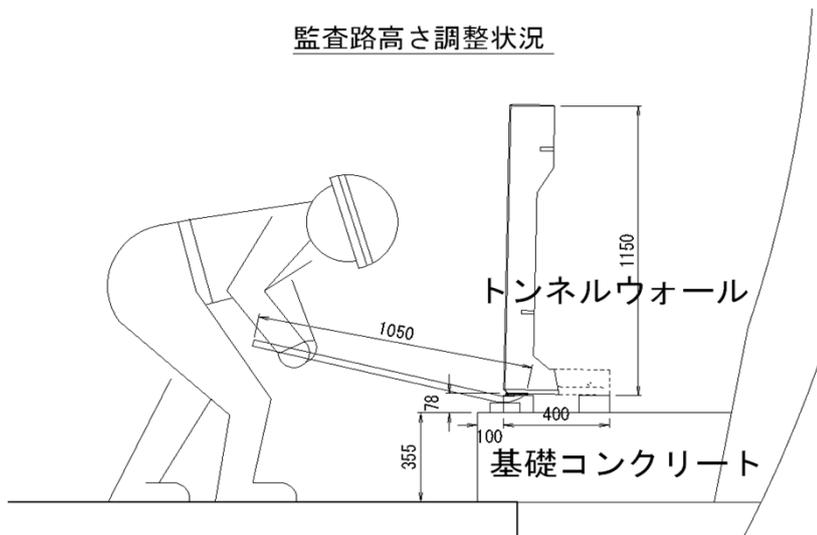
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|------|------|
| 平成21年度 累計 | 1件 | 14件 | 18件 | 22件 | 29件 | 37件 | 41件 | 55件 | 65件 | 69件 | 76件 | 81件 |
| (月毎) | (1件) | (13件) | (4件) | (4件) | (7件) | (8件) | (4件) | (14件) | (10件) | (4件) | (7件) | (5件) |
| 平成22年度 累計 | 6件 | 14件 | 18件 | 25件 | 27件 | 35件 | 40件 | 45件 | 49件 | 56件 | 61件 | 63件 |
| (月毎) | (6件) | (8件) | (4件) | (7件) | (2件) | (8件) | (5件) | (5件) | (4件) | (7件) | (5件) | (2件) |
| 平成23年度 累計 | 0件 | 5件 | 11件 | 13件 | 20件 | 23件 | 28件 | 35件 | 40件 | 45件 | 53件 | 62件 |
| (月毎) | (0件) | (5件) | (6件) | (2件) | (7件) | (3件) | (5件) | (7件) | (5件) | (5件) | (8件) | (9件) |
| 平成24年度 累計 | 2件 | 6件 | 8件 | 18件 | 23件 | 31件 | 42件 | 50件 | 63件 | 66件 | 67件 | 74件 |
| (月毎) | (2件) | (4件) | (2件) | (10件) | (5件) | (8件) | (11件) | (8件) | (13件) | (3件) | (1件) | (7件) |
| 平成25年度 累計 | 2件 | 5件 | 16件 | 20件 | 24件 | 31件 | 39件 | 48件 | 57件 | 63件 | 71件 | 77件 |
| (月毎) | (2件) | (3件) | (11件) | (4件) | (4件) | (7件) | (8件) | (9件) | (9件) | (6件) | (8件) | (6件) |

■ 問合せ先: 企画部 技術調査課 遠藤・桑田 (TEL 048-600-1332)

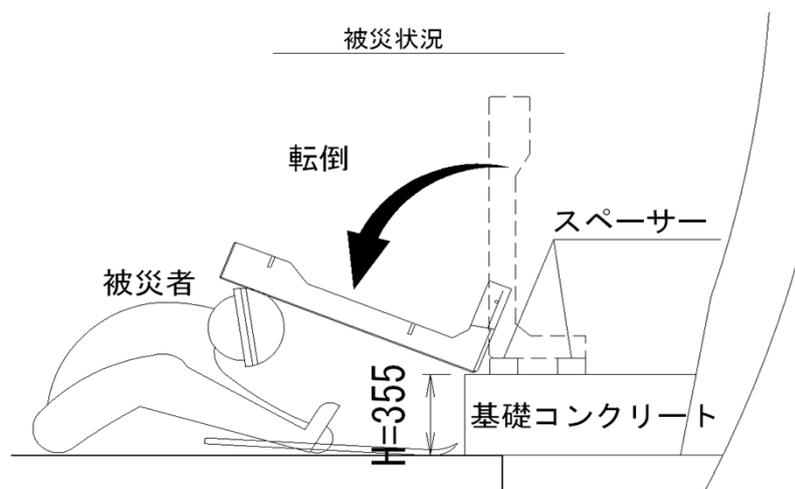
| | | | | | |
|-------|--|----|----|-------|---|
| 発生日時 | 平成 26 年 3 月 1 日 (土) 22 時 0 分 | | | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 道路系事務所 一般土木工事 | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | |
| | 男 | 49 | 土工 | 死亡 | |
| 事故概要 | トンネル監査路のL型擁壁の高さ調整を行っている際、L型擁壁が作業員側に倒れてきて、作業員1名が挟まれ、死亡したものの。 労働災害—運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷 | | | | |

事故発生状況

監査路高さ調整状況



被災状況



・トンネル坑内の監査路用L型擁壁(トンネルウォール)設置作業を実施していた。

・あらかじめ設置してあったスペーサーの上に、クローラクレーンを用いてトンネルウォールを設置した後、クレーン吊り金具を外し、ボールを用いてレベルの最終調整を行っていた。

・その際、トンネルウォールが被災者側に倒れ、被災者が下敷きとなり、死亡した。

【事故発生原因】

・詳細な作業手順が検討されていなかった。
など

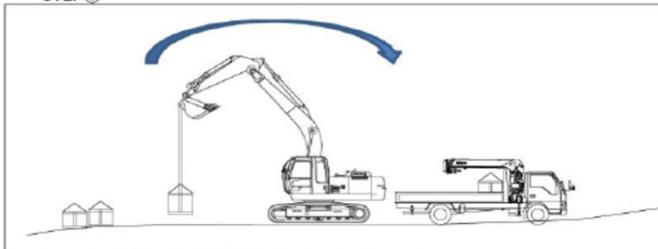
【事故防止のポイント】

・施工前に現場をよく確認のうえ、現場条件にあった詳細な施工計画を作成し、作業員に周知・徹底を行う。
など

| | | | | | | |
|-------|---|----|----|-----------|----|---|
| 発生日時 | 平成 26 年 3 月 4 日 (火) | | | 15 時 30 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 河川系事務所 維持修繕工事 | | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | | |
| | — | — | — | バックホウ転倒 | | |
| 事故概要 | 仮締切の1t土のうを撤去作業中、バックホウで吊って作業を行っていたが、持ち上げて旋回しようとしたところ、バックホウが横転したもの。 | | | | | |
| | その他事故 | | | | | |

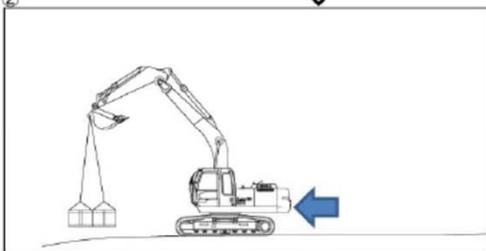
事故発生状況

STEP①



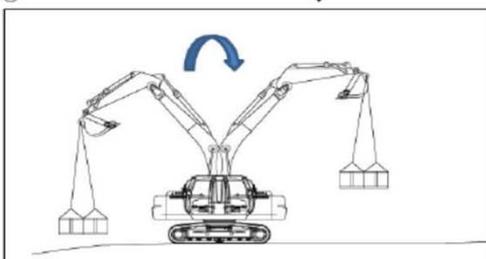
4tトラックへの大型土のう積込作業を行っていた。

STEP②

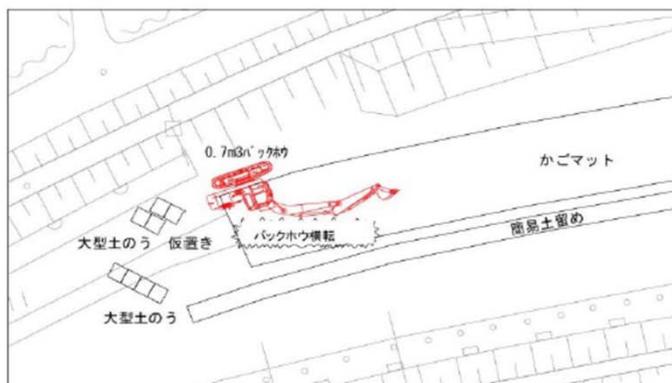


バックホウを移動し、大型土のうを吊上げる。

STEP③



旋回し、丁張を避けようと、アームを上げたところ横転



- ・降雨が予想されたので、河川の増水に備えて、仮締切の撤去を開始した。
- ・午前中に大型土のうをバックホウ側に集積を行い、午後から4tトラックを使用して大型土のうを仮置場に移動を開始して、15個までを1個吊りにて行き地盤に異常はなく終了した。
- ・その後、土のうの移動を行っている時に、小さめの土のうだったので、2個を同時に吊り上げて荷重表示(1.8t)を確認し、旋回したところ、バックホウがゆっくり傾き、徐々に横転した。
- ・バックホウ転倒に伴う、公衆損害、人身被害等はなかった。

【事故発生原因】

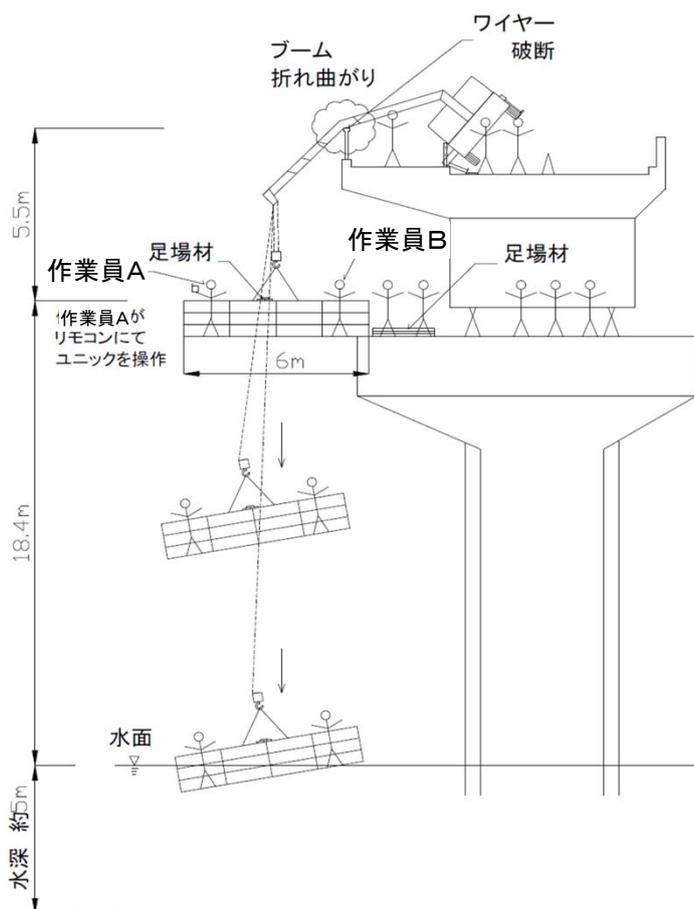
- ・作業前の重機足場の確認及び転倒防止措置を行っていなかった。 など

【事故防止のポイント】

- ・重機使用時は足場の確認を行い、敷鉄板などを使用する。 など

| | | | | | | |
|--------------|--|----|-----|-----------|----|---|
| 発生日時 | 平成 26 年 3 月 17 日 (月) | | | 13 時 40 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 道路系事務所 維持修繕工事 | | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | | |
| | 男 | 31 | 作業員 | 死亡 | | |
| 事故概要 | 橋梁上で、ユニック車にてゴンドラを吊り下げて、吊り足場を解体・運搬中に、車道にあったユニック車が歩道側に倒れ、ブームが高欄にあたり、その衝撃でワイヤーが破断し、作業員がゴンドラと一緒に川に転落、死亡したもの。 | | | | | |
| 労働災害-その他労働災害 | | | | | | |

事故発生状況



・橋梁上において、ユニック車にてゴンドラを吊り下げて、吊り足場を解体・運搬作業中に、ゴンドラ内で作業していた作業員2名のうち、作業員Aがリモコンでユニック車を操作していたところ、橋脚にかかっていたゴンドラ端部が離れた際にゴンドラが揺れて、車道側にあったユニック車が歩道側に倒れ、ブームが高欄に当たり、その衝撃で2本吊りワイヤーの1本が破断し、作業員2名がゴンドラと一緒に川に転落した。

・転落した作業員のうち、1名(B)は自力で川から這い上がり救助されたが、他の1名(A)が行方不明となり、後に遺体が発見された。

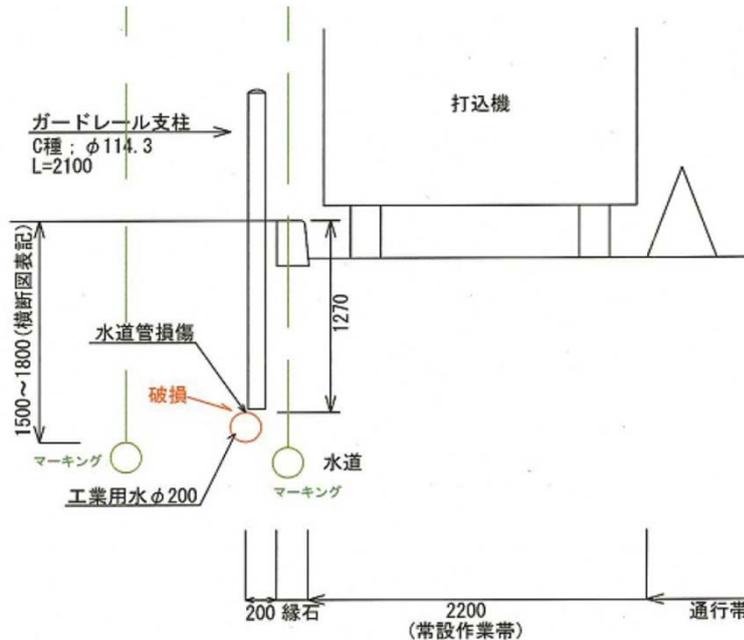


【事故発生原因】(詳細調査中)
 ・クレーンの使用方法が適切でなかった。
 など

【事故防止のポイント】
 ・現場条件にあった適切な施工計画を作成し、作業員に周知・徹底を行う。
 など

| | | | | | |
|-------|---|----|----|---------|---|
| 発生日時 | 平成 26 年 3 月 19 日 (水) 17 時 0 分 | | | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 道路系事務所 アスファルト舗装工事 | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | |
| | — | — | — | 工業用水管損傷 | |
| 事故概要 | ガードレールの支柱打ち込み作業中に、埋設されていた工業用水管を損傷させたもの。 | | | | |
| | 公衆損害—地下埋設物件損傷 | | | | |

事故発生状況



- ・常設作業帯にてガードレール支柱の打込み作業を行っていた。
- ・打込み開始後、縁石天端からH=1270程の位置にて打込みが止まったため、支柱を一度引抜き手掘り掘削にて確認を行ったところ、地面からじわじわと水が湧いてきたため、水道局に電話をし現地を確認してもらった。
- ・その結果、工業用水管φ200に接触しヒビが入っていたことが判明した。
- ・当日は、この作業をやる予定はなかったが、作業員の判断により、先行して実施してしまった。

【事故発生原因】

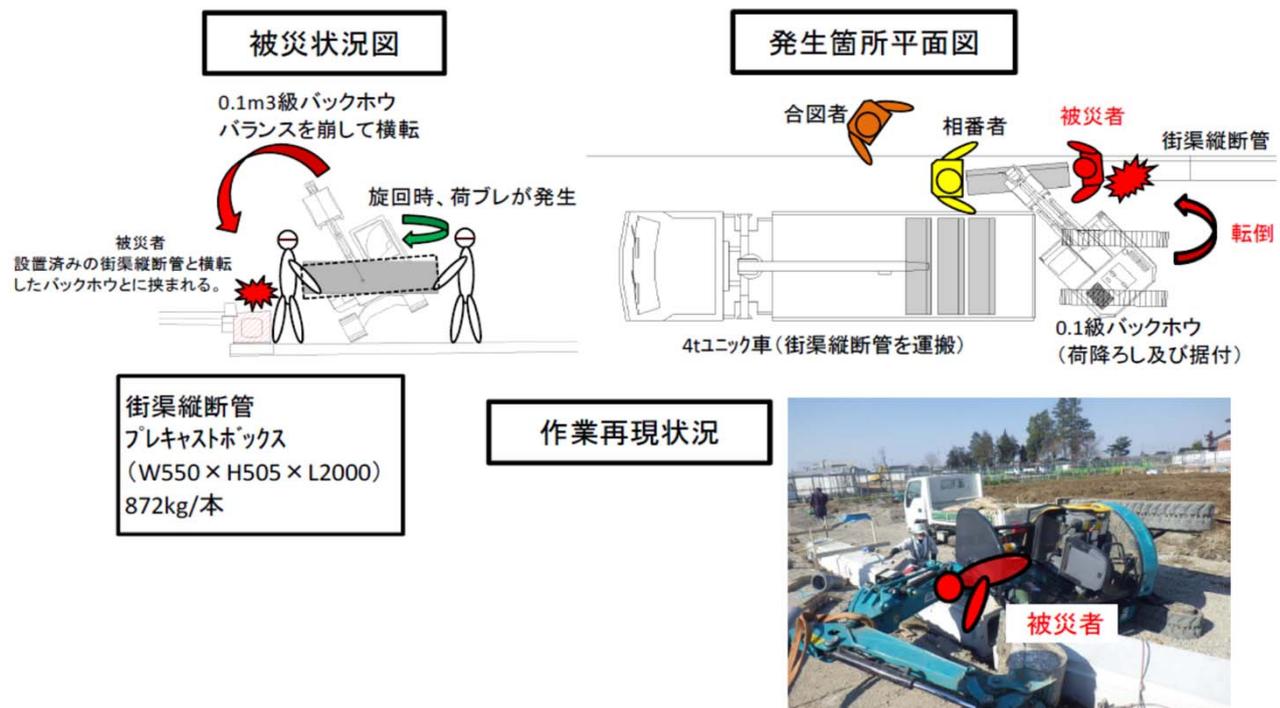
- ・当日の作業指示が周知徹底されていなかった。
- など

【事故防止のポイント】

- ・当日の作業指示を明確にし、作業員に周知徹底を行う。
- など

| | | | | | | |
|-------|---|----|-----|-----------|----|---|
| 発生日時 | 平成 26 年 3 月 24 日 (月) | | | 14 時 30 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 道路系事務所 一般土木工事 | | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | | |
| | 男 | 55 | 作業員 | 打撲、裂傷 | | |
| 事故概要 | 縦断管敷設作業時に、バックホウで管路を吊り下げたところ、バックホウが転倒し、近くにいた作業員に接触し負傷したもの。 | | | | | |
| | 労働災害-建設機械の稼働に関連した人身事故 | | | | | |

事故発生状況



- ・縦断管敷設作業時に、バックホウで管路を吊り下げたところ、近くにいた作業員にバックホウが転倒し接触した。
- ・作業員の負傷は、頭部と胸部を打撲。まぶた付近が切れた。
- ・運転していたオペレータは、移動式クレーン運転の資格を有していなかった。

【事故発生原因】

- ・無資格者による重機の運転など

【事故防止のポイント】

- ・有資格者による運転の徹底
- ・定格荷重等の確認など